



「目で聴くテレビ」番組制作を中心に、きこえない人・きこえにくい人の情報アクセシビリティ向上をめざして、誰一人取り残さない社会の実現に貢献します



❖2025年デフリンピック日本開催に向けて、過去のデフリンピック番組アーカイブを充実させるとともに、関連情報はすべてお伝えしてデフリンピックへの期待を高めるために注力します。



(2022年ブラジルデフリンピック・ビーチバレー)

❖旬の話題をわかりやすくお伝えします。



(2022年8月 障害者権利条約の「建設的対話」について 全日本ろうあ連盟理事の中西久美子さんにお聞きました)

❖様々なジャンルのオリジナル番組

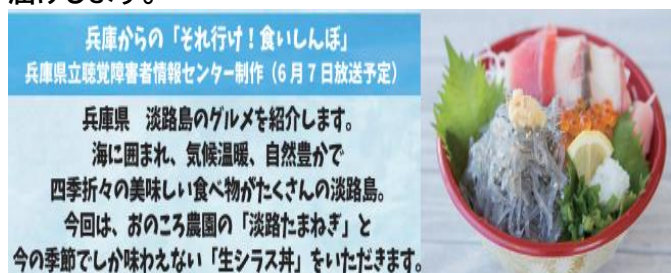
●国際手話



●手話くらべ



❖全国の聴覚障害者情報提供施設から情報をお届けします。



リアルタイム手話緊急災害放送と防災番組

NHK の災害放送にリアルタイムで手話を付けて放送します。番組アーカイブには防災に関する情報番組も搭載し、リアルタイム手話緊急災害放送がない時間帯でも、24時間いつでも手話番組アーカイブをご覧いただくことができます。



【緊急災害放送の様子】

「アイ・ドラゴン4」で地上波と手話通訳者を合成した画面

ひとつの画面上で NHK の放送と手話放送を見ることができます

「アイ・ドラゴン4」の「リアルタイム手話・字幕放送」を見る機能は、厚生労働省が「日常生活用具」として認可するうえで必須要件となっています。

「アイ・ドラゴン4」普及の取り組み

全国の福祉避難所となる公共施設・団体に「アイ・ドラゴン4」を設置していただくよう、都道府県・市町村に要望しています。

2022年5月、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立し、国や地方公共団体の責務、事業者の責務(努力義務)や国民の責務、国・地方公共団体・事業者等の相互の連携協力や、当事者等の意見の尊重も明示されたことで、アクセシビリティ保障やバリアフリー対応は、障害当事者の努力や歩み寄りではなく、社会にその対応責任があることが明示されました。「アイ・ドラゴン4」を全国の福祉避難所等に設置するように要望すれば実現する要件は整っています。

目で聴くテレビ受信機
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)



アイ・ドラゴン4の機能

- 災害時に手話・字幕付きの緊急災害放送を見る
- 目で聴くテレビが収集した災害時情報をオリジナル番組で見る (全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る
- 手話番組アーカイブを 24 時間いつでも見られる